

二階ヲ以上申致意ハ函館支場合所之推合ニ
準シ施行ノ条ニ及上申ノ也

明治十三年一月十三日 開拓長官黒田清隆

太政大臣三條公美殿

百三十一
以早爲長官官商

書記官

記
開水

乙亥三階

山内提雲由任ノ義師篇

札幌在勤開拓大書記官山内提雲由任用ニ
之深至古達也各官年乙未百餘ノ号ノ及陸海
軍ニ受 師用五階也 功位ニ及此也 陸海軍任也

也

明治十三年一月十日

開拓長官黒田清隆

右大臣岩倉具視殿

行

三十一日

百廿六
岩倉具視殿

書記友

記

乙亥年四月

岩倉具視殿

拙者義隆用迄西館出張

岩倉具視殿

明治十三年一月十四日

岩倉具視殿

岩倉具視殿